



南光ひまわり畑



『大府市教育委員会との連携』 ～不登校児童生徒の支援をめぐる～



特定医療法人共和会 共和病院
名誉院長 榎本 和

平成4年文科省が各市町に対し「不登校対策協議会」を設置するように通達するのに先駆け、大府市は平成2年に「不登校対策協議会」を立ち上げました。協議会の組織は、専門医、心理士、児童相談所職員、学校関係者、教育委員会職員などで構成され実施され、私にも委員の委嘱依頼があり精神科医として参加しました。当時は不登校児童生徒の理解について様々な見解があり、「不登校児の数を減らすこと」が目標にされがちだったので、まず委員の共通理解を図るために事例検討をする事としました。検討が進むにつれ、「子どもの心の不調」や「学校で問題行動を起こす子ども」の現場での対応や理解について検討することが必要と考えられるようになりました。各小・中学校で巡回事例検討会が開催されるようになり、助言者として事業当初からかかわっておられた（現）中京大学現代社会学部教授 辻井正次先生と手分けして参加しました。

その経過で他の学校での取り組みを共有できたらとの声があがり、当時の教育長にお願いし、教育委員会のバックアップのもと、平成6年度には自主的な事例検討会を開催する事になり、後に述べるレインボーのスクールカウンセラーも全員、助言者として参加しています。30年近く

たった現在も継続して開催され、小中学校の教師（125名登録）、保育士、適応指導教室職員が参加し、困難な事例の対応について毎回検討しています。最近是不登校事例も多様化しており、「発達が個性的な子ども」、経済的問題あるいは虐待など「家庭に困難がある」と思われる事例などもあり、地域の関係機関との連携が求められています。

大府市は「子ども精神保健」に関して他の市町にはない取り組みをしています。その一端として市独自に不登校児童生徒が通う適応指導教室（レインボーハウス）に週5日、辻井先生はじめ経験のある臨床心理士5人を配置し相談を受けています。相談の結果、医療が必要とされた場合は当院をはじめとする児童発達外来に受診してもらい、診察し、必要に応じてカウンセリングや発達作業療法など行なっています。子どもの「心の不調」について専門医療機関はどれも相談の枠が少なく予約待ちとなっている現状を考える時、住んでいる地域でタイムリーに相談ができることは親や子どもたちにとって安心につながります。

当院として、これからも大府市の子どもへの支援をめぐる、学校現場の先生、教育委員会ははじめ子どもも未来課など関係機関との連携を深め、この地域の子どもの精神保健に寄与できたらと思います。



倫理コンサルテーション会議

倫理コンサルテーション会議についてご紹介します。
この会議は、院内で生じる倫理的な問題について、広く様々な立場から検討する場として令和2年7月に発足しました。会議メンバーは、医師、看護職、リハビリ職、福祉職、外部コンサルタントで構成されています。

私たちは、医療やケア、サービスを提供する際に、「この行為は正しいのか?」「本当に患者さんのためになっているのか?」など悩むことがあります。また、患者さんやご家族の間で医療に期待する意見が異なる、ということもあります。そのような時は、各専門職からとらえた視点や価値観などの“物差し”をもとに、最も良い方法や選択をしようと一緒に話し合っています。しかし、多様性があるからこそ答えは一つではなく、葛藤することがあります。そのような時に、会議メンバーが第三者として関係者と一緒に検討しサポートしていきます。また、倫理に関する研修会を開催し、多職種による事例検討を通して倫理観を養うようにしています。



最近力を入れていることは、「転倒予防などの安全面を理由に、高齢の患者様の行動を制限することはゼロに近づけよう」ということです。一般的には、“身体拘束”と言われる、ベルトなどで身体の一部を固定する行為です。当院



多職種合同倫理研修会でのグループワーク

では、このような行為をゼロにすることに特に力を入れてきた長い歴史があり、実施件数は他院と比べても極端に少ない状況です。近年では、高齢の患者様が増え、生命維持、安全、人権など様々な視点から、何を優先するか悩む機会も増えています。そこで改めて当院が大切にしたいことの一つとして、職員間で認識を再確認しているところです。患者さんの「こういう人生を歩みたい」「自由に動きたい」という思いを主軸に、ご家族とも話し合いを重ねながら私たち医療者ができる限りの工夫を続けていくことが必要であり、この倫理コンサルテーション会議がそのお手伝いとして機能できるよう取り組んでいきたいと思っています。

看護部 石川 恵己

国家資格及び認定資格の合格者を紹介します

精神保健指定医
精神神経学会 精神科専門医
高橋 峻平 (診療部)

精神神経学会 精神科専門医
日本医師会 認定産業医
嶋本 正範 (診療部)

精神神経学会 指導医
成瀬 公人 (診療部)

日本病院総合診療医学会 認定病院総合診療医
PEG・在宅医療学会 専門胃腸造設者
中村 晴菜 (診療部)

日本理学療法士協会認定 フレイル対策推進マネージャー
認定理学療法士 (地域理学療法)
伊奈 克昌 (リハビリテーション課)

認定理学療法士 (地域理学療法)
認定理学療法士 (呼吸)
稲垣 光孝 (ソレイユ)

福祉住環境コーディネーター2級
稲垣 祥子 (ソレイユ)

日本語検定 3級
志水 俊哉 (事業支援部門)

TENA (紙おむつ) マイスター認定
檜崎 龍 (C-2 病棟)
熊 友香梨 (C-2 病棟)

職員表彰を 行いました

当法人では、よりよい職場を目指して職員表彰を行なっています。

よい気づきを職場内で共有することで良い行動へとつなげ、良い点に目を向けられるようになることが潤滑油となり、職場のよい雰囲気づくりに繋がっています。

令和3年4月1日の全体朝礼にて、職員表彰の受賞者発表と表彰式を行いました。

受賞者の選定については、葉っぱの形をした「いいねカード」に、職員間で良いと思う行動や態度等をされた方の名前とその内容を記入して頂き「いいねの木」に貼っていきます。カードの内容を共和会理念、行動基本などの項目にあわせ、より優れた理念行動をされた方を決定します。

今回は、みつばクリニックの森岡美和さんが選ばれました。おめでとうございます！



左から森岡 美和さん、加藤 会長

【理 念】

優しい医療

- ・まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- ・あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- ・それぞれの専門性を活かした最良の医療・介護サービスの提供

楽しい職場

- ・職員のチームワークと創造性が高められる職場
- ・職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- ・職員の満足を皆様へ反映される職場

【行動基本】

- 1、わたしたちは「あ」安心を感じていただけるように仕事をします
- 2、わたしたちは「い」いつも向上心もちチームケアをしていきます
- 3、わたしたちは「う」うれしいと言ってもらえることをします
- 4、わたしたちは「え」笑顔で元気よくあいさつをします
- 5、わたしたちは「お」お互いを尊重し合い、業務に取り組みます

推薦者の声

新型コロナウイルスの感染拡大によりマスクが不足する状況が続くなかで、いち早く近所の保育園、共和病院の保育所やクリニックに来院していただく皆様、老人会、社会福祉協議会等に手作りマスクを配布することにより、地域の中で生まれ安心できるクリニックとして、感謝される行動だと思いました。すすんで実践し、継続しているところもすごいと思います。

森岡美和さんの声

コロナ感染拡大により、マスクは当初入手が難しい状況が続いていました。クリニック近隣の高齢者の方々がマスク不足に不安を感じていることがきっかけで、少しでも自分に出来ることはないかと自宅で手作りマスクの作製に取り組んできました。患者様から泣きながら喜んでいただいたこともありましたが、私ひとりではできないこともあり、支援や協力してくださった方々にも感謝しております。また、コロナウイルス感染の減少と共に多くの方が健康でいられることを願っています。



森岡さんが作ったマスク

近隣の保育園、老人会、社会福祉協議会等への配布は、現在も継続されています。これからも多くの方に笑顔をお届けしてください！

職員表彰担当チーム

編集後記



今号の初回打ち合わせは4月下旬、当法人職員へのコロナワクチン接種開始の時期でした。

その後65才以上の方の接種も始まり、職域接種の受入れも行ない、徐々にコロナ収束の道筋が見えてきました。

今はまだコロナ禍で制限のある生活ですが、その中でも小さな楽しみを見つけながら過ごし、みんなでこの状況をのりこえて行けたらいいと思います。

広報誌委員会 河村 直子



当法人会長の加藤仁が
長年の医療貢献に対し、
日本医療法人協会会長賞を
受賞しました。

共和会の礎を築いた加藤会長、
これからも一層の活躍を
期待いたします。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした
最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

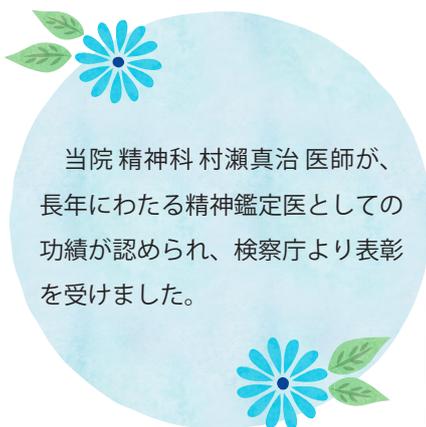
- 職員のチームワークと創造性が
高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が
感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ
納得のいく医療を受けていただくことを
目指し、それぞれの尊厳を大切に、
思いやりのある医療を提供します。さら
に、地域関係機関との密接な関係を保ち、
地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや
病気の性質などにかかわらず、必要な
医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性
および回復の可能性についてあなたが
理解できる言葉で説明を受け、それ
を十分納得して同意したのちに、
医療を受けることができます。ただし、
必要に応じて主治医の判断によって
ご家族、代理の方にお話をする場合
もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、
検査、看護・介護、食事その他につい
てご自分の希望を申し出ることができ
ます。また、他の医療機関に転院した
い場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護
されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供
されるよう、地域関係機関との連携を
図ります。



当院 精神科 村瀬真治 医師が、
長年にわたる精神鑑定医としての
功績が認められ、検察庁より表彰
を受けました。



村瀬真治 医師 (写真中央)



当院では、院内の一部をGoogleイ
ンドアビューを利用して公開してお
ります。

Googleインドアビューとは建物内
を360度のパノラマ写真で見渡すこ
とができるGoogleのサービスです。

正面玄関から入り、歩いている感
覚で外来を中心に院内を見ることが
できます。

エレベータに乗って頂くと上階に
移動することも出来ます。

当院をご利用の際に、ご参考にし
てください。



特定医療法人 共和会
共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・肛門外科
放射線科・リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)
URL <http://www.kyowa.or.jp/>

★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日 19:00~19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞きください。

おもいやり共和の キラキラチアナイト

当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

今年こそはと再開を計画しておりました「盆踊り大会」と「てんてん祭り」につ
きましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、来年以降に見送
ることになりました。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。